

赤松小三郎講演会のご案内



赤松小三郎 上田市立博物館蔵

講演テーマ 「幕末政治と赤松小三郎」

講師 町田明広氏(神田外語大学教授)

幕末、信州上田藩士赤松小三郎は、京都で開いた洋学塾などで多くの英才を育てるとともに、わが国の近代化に向けてのグランドデザインを描き、その実現に力を尽くしました。

残念ながら、赤松は、1867年(慶応3年)37歳で志半ばにして暗殺されましたが、その先進的な政治思想と優れた洋学の教えは日本の近代化に大きく貢献しました。

当研究会では、今回、神田外語大学教授で、日本近現代史(明治維新史)がご専門の町田明広氏を講師にお迎えし、『幕末政治と赤松小三郎』をテーマにお話をお伺いします。

日時；2023年11月26日(日) 講演14:00~16:30(受付開始13:30)

会場；日比谷図書文化館 地下1階コンベンションホール(裏面案内図ご参照)

参加費；1,000円(当日会場受付にて申し受けます)

定員；200名(先着順 お早めにお申し込みください)

講師 町田明広氏 (神田外語大学教授)

略歴

昭和37年(1962)生まれ、長野市出身。

日本近現代史(明治維新史)研究者、神田外語大学外国語学部教授・日本研究所所長。

著書に『幕末文久期の国家政略と薩摩藩』(2010)、『島津久光=幕末政治の焦点』(2009)、『グローバル幕末史』(2015)、『薩長同盟論』(2018)、『新説 坂本龍馬』(2019)、『攘夷の幕末史』(2022)、編著『幕末維新史への招待』(2023)など多数。

講師からひとこと

高校時代まで、長野市に在住していた関係から、非常に近い上田市にも何度か足を運んでおり、かなり以前から赤松小三郎には関心を抱いていました。

現在、薩摩藩を中心に慶応期の研究を進めていますが、赤松の建白書が薩摩藩側史料からも確認できます。

ところで、幕末維新史に関心があっても、赤松の存在を知らない方々が少なからず存在しています。これは、幕末の最終段階を迎える直前に、赤松が非業の死を遂げているからに他なりません。それに伴い、赤松は余りに過小評価されているのではないのでしょうか。この事実は、非常に残念なことです。

今回は、赤松が上田藩士であったことに最大限留意しつつ、その事績の意義や暗殺の背景を確認し、幕末政治史の中で赤松をどのように評価して位置付けるべきなのか、私なりに「赤松小三郎」の実相にアプローチを試みたいと思います。

お申込は

赤松小三郎研究会事務局 (Eメールで事前のお申し込みをお願いいたします)

Eメール：kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp

(お名前、ご住所、本講演会をお知りになったきっかけなどご記入ください)

Eメールをご利用できない場合：電話：070-2685-2384 (事務局 小山)

(提供いただく個人情報は講演会の案内などの目的で適正に取扱うとともに、目的外利用はいたしません)

主催 上田高等学校関東同窓会赤松小三郎研究会



赤松小三郎【天保2年(1831年)～慶応3年(1867年)】

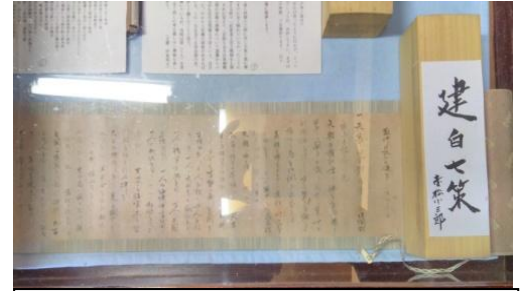
幕末の信州上田藩士。江戸に出て内田弥太郎、下曾根金三郎に師事し、数学、天文、測量、暦学、蘭学、砲術を学ぶ。その後勝海舟に入門し、その侍として長崎海軍伝習所で航海術などを学ぶ。さらに横浜で英国士官アプリンから英語、英国兵法などを習う。

幕末の京都で開いた私塾や薩摩藩邸、会津藩邸で洋式兵学を教えた。諸藩より学ぶ門下生の数、800余名。その中には東郷平八郎元帥、上村彦之丞大将など日清、日露戦争で活躍した諸将が含まれる。薩摩藩島津久光侯の委嘱により「重訂 英国歩兵練法」を翻訳した。

慶応3年5月、前政事総裁職（前福井藩主）の松平春嶽侯、島津久光侯及び幕府に建言した「建白七策」は、今後の政体構想と国家のグランドデザインを描いたもので、政治史のなかで輝いている。

天幕一和、諸藩一和のもと上下二局の議政局により内憂外患のこの時期を乗り切る方策を模索し、西郷隆盛や徳川慶喜への働きかけを行うなど、最後まで東奔西走したが、明治維新直前の慶応3年9月、京都において弟子の薩摩藩士桐野利秋らにより暗殺された。享年37。

上田市（上田城跡公園内）に赤松小三郎記念館がある。



建白書複製（赤松小三郎記念館）
原資料は鹿児島県歴史史料センター
黎明館蔵



■会場のご案内

〒100-0012

東京都千代田区日比谷公園 1-4

日比谷図書文化館 (地下1階)

日比谷コンベンションホール

(大ホール) (旧 日比谷図書館)



都営地下鉄 ● 三田線「内幸町駅」A7出口／徒歩3分
東京メトロ

● 丸の内線 ● 日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口／徒歩3分

● 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口／徒歩3分

JR「新橋駅」日比谷口 (SL広場) 徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。